

令和 9 年度「文部科学省 CBT システム（MEXCBT）の改善・活用推進事業」
にかかる情報提供依頼（RFI）
実施要項

文部科学省 初等中等教育局
参事官（デジタル学習基盤担当）付教育 DX 推進室

1. 背景・目的

「GIGA スクール構想」により、各学校に「1 人 1 台学習者用端末」が整備されたことを踏まえ、文部科学省において、文部科学省 CBT（Computer Based Testing）システム（以下「MEXCBT」という。）を令和 3 年度から全国で活用を開始し、全国の小・中・高等学校等で活用を進めてきました。令和 9 年度には全国学力・学習状況調査において小学校調査、中学校調査ともに、悉皆調査は教科調査・児童生徒質問紙調査全てを MEXCBT で実施します。こういった背景のもと、今後の MEXCBT の安定的かつ持続可能な運用に向け、改めて MEXCBT の在り方について中長期的観点を含めて検討するため、関連するアイディア、知見・ノウハウ、技術・サービス等の情報を参考といたく、令和 9 年度「文部科学省 CBT システム（MEXCBT）の改善・活用推進事業」に関する情報提供依頼（RFI）を実施します。

この検討に当たっては、将来的なシステム構成、CBT エンジン、機能要件・非機能要件、標準化・相互運用性、移行性・可搬性等についても、今後の方向性を検討するための情報を広く収集します。

2. 募集情報

全国的な規模での CBT の実施、運用及びこれを支えるサービス・技術に関すること

※本 RFI は、今後の MEXCBT 及び全国規模の CBT 基盤の在り方に関する検討の参考とするため、広く情報収集を行うものです。現行の MEXCBT で採用している方式や機能に限定されることなく、全国規模での CBT の実施・運用に資するサービス、技術、運用手法、制度・ルール、先進的な取組事例等について、広く情報提供を頂きたいと考えております。また、教育分野に限らず、他分野において実績を有する技術や将来的な活用が期待される技術についても積極的な情報提供を歓迎します。

3. 応募者の要件

① 全国的な学力調査、入学者選抜、資格試験、検定試験その他大規模な CBT の実施主体である国の機関、独立行政法人、地方公共団体又はこれらが設置する機関

② 前項①の他、法人格を有する団体

4. 募集期間

令和8年9月14日(月曜日)から令和8年9月28日(月曜日)

5. 情報提供の方法

1) 情報提供の内容

MEXCBTの将来的な改善及び活用推進並びに全国規模のCBT基盤の在り方の検討に資するため、全国的な規模でのCBTの実施やこれを支えるサービス・技術等に関する情報提供を求めます。なお、以下の項目は情報提供を求める事項の例であり、全ての項目への回答を必須とするものではありません。応募者の知見、実績又は提供可能なサービス・技術等に応じて、回答可能な範囲で情報提供をお願いします。

各事項については、可能な範囲で対応状況、対応範囲、制約事項、実運用実績、検証実績、将来の対応計画等が分かる情報についてあわせてご提供をお願いします。

① 全国的な規模（数十万人／日、実施期間中に約二百万人×複数教科）でのCBTの実施に関する情報

（情報提供を求める事項の例）

- ・全国規模または大規模なCBTの実施実績
- ・受検者・利用者の規模
- ・システム運用体制
- ・大規模アクセスへの対応方法
- ・大規模アクセスに関する実績値、負荷試験値又は設計上の想定値（可能な範囲で、その区分を明示）

② CBTシステムのサービス・技術に関する情報

※特定の製品、方式又は標準規格への対応を情報提供の前提条件とするものではありません。

※以下に示す事項は例示であり、これらに限定されるものではありません。全国規模でのCBTの実施・運用に資するサービス、技術、運用手法等について、幅広く情報提供をお願いします。

（ア）CBT機能

- ・問題作成
- ・問題配信
- ・受検管理

- ・採点（記述式採点、自動採点）
- ・結果提供
- ・不正防止機能
- ・データ連携機能
- ・CBT エンジン／テストプレイヤーの製品・サービス形態、構成及び提供方式
- ・問題バンク、問題作成（Authoring）、テスト編成、テスト配信、テストプレイヤー、採点、結果提供等の機能構成
- ・対応する問題形式・出題方式及びその制約
- ・日本語表示に関する機能（縦書き、ルビ、数式・記号等）
- ・外部システムとの連携に利用可能な API、データ形式等

（イ）システム基盤

- ・クラウド基盤
- ・ガバメントクラウド対応
- ・認証基盤
- ・大規模アクセス対応
- ・性能・可用性（スケーラビリティ、負荷分散、自動スケール、監視、可用性確保等）
- ・最大同時受検者数、処理性能、応答時間等の性能に関する情報（実運用実績、負荷試験実績、設計上の想定等）
- ・サービスレベル、障害復旧、バックアップ、RTO・RPO、災害対策等
- ・受検中の通信断・端末障害等が発生した場合の解答保持、再開・復旧方法
- ・全国規模の CBT 基盤として望ましいと考えるシステム構成、コンポーネント分割及び連携方式
- ・統合型製品、CBT エンジンと周辺機能の組合せ、標準インターフェースによる疎結合構成等に関する考え方
- ・現行 MEXCBT からの段階的な移行・併用を行う場合の考え方

（ウ）運用サービス

- ・ヘルプデスク
- ・問合せ対応
- ・障害対応
- ・アカウント管理
- ・利用者サポート

（エ）データ利活用

- ・試験結果分析
- ・学習ログ分析
- ・ダッシュボード
- ・データ可視化
- ・教育データの活用事例

(オ) 先端技術

- ・自動採点技術
- ・手書き文字認識
- ・問題作成支援
- ・生成 AI の活用
- ・CAT (Computer Adaptive Test)
- ・IRT (Item Response Theory)

(カ) 標準化・相互運用性

- ・国際標準規格対応 (QTI、xAPI、LTI など)
- ・学習 e ポータルとの連携
- ・教育データ標準への対応
- ・問題、テスト、受検情報、解答結果等の相互運用性及びデータ可搬性を確保する方法

・QTI 等の国際標準規格について、対応する規格・バージョン・範囲、適合性認証の有無、インポート／エクスポートへの対応状況

・国際標準規格に対応していない場合の、独自データ形式の仕様公開状況、API、変換機能・変換ツール等による連携可能性

- ・他の CBT システムとの問題・テスト等の移行・相互運用実績
- ・国際標準規格への将来的な対応可能性・対応計画及び技術的な制約
- ・問題、テスト、受検結果等の他システムへの移行・エクスポート方法
- ・特定製品・サービス固有の形式や機能への依存関係及び移行時の制約
- ・他の CBT エンジン又は標準形式との接続に必要となる追加開発・変換レイヤー等の程度

(キ) セキュリティ

- ・個人情報保護
- ・アクセス制御
- ・不正アクセス対策
- ・ログ管理

- ・脆弱性対策

(ク) アクセシビリティ

- ・障がいのある児童生徒への配慮
- ・多言語対応
- ・アクセシビリティに関する標準・ガイドラインへの対応状況
- ・表示変更、読み上げ、キーボード操作等、受検時に提供可能な合理的配慮・支援機能

2) 提出方法

以下 URL より情報提供をお願いします（任意様式）。必要に応じて、補足説明資料も添付してください。

応募フォーム：

<https://forms.cloud.microsoft/Pages/ResponsePage.aspx?id=sBBYVMs2kEKJJkjbwPnpL2fOVDiOLgJEo4sBZSbO8cRUMkpRMU9DNFBTVUdQVTc2VkRaQkEyU0U1Ui4u>

6. 情報提供資料の取扱いについて

応募者から提出された情報提供資料は、文部科学省初等中等教育局参事官（デジタル学習基盤担当）付教育 DX 推進室が、MEXCBT の将来的な改善及び活用推進に向けた参考資料として活用します。なお、頂いた情報をもとに事業を行うにあたっては、あらためて公募を行う予定です。このとき、本 RFI における情報提供の有無は公募における評価とは無関係です。

また、応募者から提出された情報提供資料は、当室及び秘密保持の義務がある PMO としての委託事業者のみの取扱いとし、そのまま対外的に公表することはいたしません。ただし、一定の整理を行い、提案者に確認をとったうえで公表する可能性があります。このため、特に、公知情報ではないものについては、関係者の了解を得たうえで情報提供を行ってください。情報提供内容に関し、応募者が保有する知的財産権（著作権、特許権等）は、応募者に留保されます。応募者の情報については、本 RFI の目的に沿って適切に管理します。

7. その他留意事項

- ・情報提供に係る費用は、すべて応募者が負担するものとします。
- ・本 RFI の対象以外の施策・事業等に関する一般的な提案・意見等は受け付けません。
- ・実際の事業の公募について、必ずしも同様のテーマ・内容等で募集を行うとは限りませ

ん。また、情報提供いただいた内容が必ずしも今後の事業内容等に反映されるとは限りません。

・本 RFI において情報提供いただいた内容・意見等について、文部科学省から個別に回答等は致しません。

8. 参考資料

文部科学省 CBT システム (MEXCBT:メクビット) について

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00001.html

文部科学省 CBT システム 運用支援サイト

<https://support2.mexcbt.mext.go.jp/>

9. 問い合わせ先

文部科学省初等中等教育局参事官 (デジタル学習基盤担当) 付教育 DX 推進室

メールアドレス: kyoikudx@mext.go.jp